

(3)尾鷲市立輪内中学校の取組

中野 敬太 (尾鷲市立輪内中学校 教諭)

2-3. 輪内地区は海と山に挟まれています。間違いなく津波がくるところです、以前取材を受けたときに大川小学校と非常に似ているという風に紹介されたところです。

4. 9つの地区があります。生徒45名のうち33人がバス通学しています。長い生徒ですと、海岸沿いを40～50分バスで登校してきます。

5-6. 輪内中学校では2つ大きな取り組みをしました。1つは、聞き取り学習です。直接子どもたちが昭和東南海地震を体験した人のところに行って、生の声を聞いてこよう、そしてそれを記録に残して伝えていこうというテーマを持って取り組みました。お年寄りと連絡をとって、地区の公民館やコミュニティーセンターへ行き、実際に聞いてきました。

7-10. 昭和東南海地震の起こったときに、旧九鬼小学校にいた人の話を聞かせていただいたりもしました。当時は、運動場の真ん中に大きな亀裂が入ったことや、海を見ながら地震の後、津波が何回も押し寄せたこと、屋根に乗って流されていく人を見たことなどを聞くことができました。
「話をする人の声が震えてきて、本当に怖い思いをしたんだなということがよくわかった」という感想を子どもたちから聞くことができました。

11. 当時11歳で昭和東南海地震を体験された方です。「当時のお年寄りが『逃げろ』と呼びかけたことで、この地区の死者は0人だった」という貴重な話を聞くことができました。そこから語り継ぐことの大切さを実感しました。

12-13. 昭和46年の集中豪雨のときの新聞をそのまま保存されていていらっしゃる方もいて、それを見せていただいたりもしました。

14. 聞き取り学習をもとに、どんな話だったか、そこから得た教訓、自分達の思いというものを一冊にまとめて全校生徒、協力いただいた方に配布しました。タイトルが「防災・平和学習聞き取り調査」となっています。これは欲張った企画で、聞き取りに協力していただく方は、80歳くらいの方をターゲットにしたので、おそらく戦争も体験されているだろうということで、津波だけでなく戦争の話も聞かせてもらいました。戦争の話を中心にされた方や、災害の



目的

過去に大災害や戦争を体験された方々に**直接会って**話を聞かせていただくことで、**より一層防災意識を高める。**

聞き取った内容を資料にまとめることで、過去に起こった出来事を、**自分たちだけでなく未来の子どもたちにも伝え、残していく。**



体験を中心にされた方、両方、色々あったのですが、この地域は非常に高齢者の方が多い場所なので、それを逆に利用し生かして取り組みました。

- 15.聞き取り調査で得た教訓です。実際に体験された方の生の声ですので、子どもたちも非常に良く理解できたのではないかと思います。
- 16-18. 2つ目の取り組みは、スクールバス通学路の避難路・避難場所調査です。いつ、どのタイミングで起こっても逃げられるように備えておくためです。バス通学路の避難路や避難場所の確認をするにあたり、全長 24 km を 9 区間に分けて、2~3 km ずつ歩いて通学路をチェックしてきました。その後、報告会を行い、写真等を見せながら、「ここが危ない」、「ここが逃げられるよ」ということを発表しました。バスの運転手さんにも参加していただき、一緒に聞いてもらいました。
- 19-23. 実際の調査の様子です。
- 24. 各地区・各区間の調査結果を一冊にまとめて、全校生徒・バスの運転手に配布しました。
- 25. 成果と課題です。学校で誰かを呼んで話を聞くのではなく、実際に自分たちが外へ出て、地域に飛び込んで活動する、そういった中で、いろんなことに気づくし、地域の方からも「こういう機会を持ってくれてありがとう」と逆にお礼を言われる話がたくさん聞かれました。ぜひこれからも、地域と一体となりながら、取り組んでいけたらと思います。

聞き取り調査で得た教訓

- まず一番に自分の命を守る、頭を必ず守る事
- 必死で生きようと頑張る
- どれだけ苦しくても諦めずに協力し合う
- 津波は逃げるが勝ち、高い所に逃げるだけ
- 食料を確保しておく、防災バッグを用意しておく、避難場所を確認しておく
- 命だけを守る、荷物はいらぬ、欲をださない
- K(危険)をY(予知)する、M(ミーティング)をする
- 自分だけでなく他人の事も考える

15

目的

スクールバス通学路を実際に歩きながら**津波避難路や避難場所を確認し、また新たに避難できそうな道を探す。**

バス乗車中に地震・津波が起こったとき、バス通学路のどこからでも避難できるようにする。****

17



スクールバス通学路の避難路・避難場所調査の成果と、そこから見えてきた課題

実際に歩いて調査することで、津波避難路の表示がある道以外にも、たくさん逃げられる道を見つけることができた。

↓

- ・津波避難路の表示をもっと増やす
- ・避難路として使える道の整備

- ・暗くても避難しやすいように外灯を設置したり、学校のカバンに懐中電灯を入れておく
- ・町中以外にも海拔表示を設置する

25